

第40回九都県市合同防災訓練 各都県市会場の訓練概要

都市名 千葉県

訓練目的	<p>本訓練は、県や市、各防災機関が連携した救出救助や自主防災組織を中心とした避難所運営などの実践的な訓練のほか、減災への備えや発災時の心得などを啓発する防災フェアを開催することで、自助・共助・公助の相互の繋がりを強化し、地域防災力の向上を目的とする。</p>
日 時	令和元年9月1日（日）「防災の日」ほか
会 場	船橋市高瀬町運動広場（実動訓練、防災フェア）ほか
規 模	参加機関（団体） 約110機関、 参加人員 約5,000名
想定地震	<p>千葉県北西部直下を震源とするM7.3の大地震が発生し、船橋市では震度6強を観測するとともに強い揺れによる建物倒壊や液状化による道路損壊等が多数発生、下水道を含むライフライン機能も麻痺している。</p> <p>この地震により約1万9千棟の家屋が被災、約12万人に及ぶ被災者は避難所での生活を余儀なくされる。</p>
訓練項目	<p>1 実動訓練</p> <p>（1）情報伝達・身体防護訓練による地震発生時の個人保護</p> <p>（2）地元活動機関やバイク部隊による被害情報収集などの初動活動</p> <p>（3）放置車両の移動などの道路啓開</p> <p>（4）被災した建物や車両などからの被災者の救出救助</p> <p>（5）応急救護所の設置、トリアージ及び応急救護などの医療活動</p> <p>（6）船舶と連携した物資や部隊の輸送訓練、海上捜索や救出救助</p> <p>2 避難所運営訓練 ※ 市内別会場で実施（市立船橋中学校）</p> <p>（1）自主防災組織が中心となった避難所の運営</p> <p>（2）支援物資の受入・配布</p> <p>3 物資輸送訓練 ※ 市内別会場で実施（船橋市防災備蓄センター）</p> <p>（1）支援物資の受け入れ及び在庫管理</p> <p>（2）避難所への備蓄物資輸送</p> <p>3 ボランティアセンター運営訓練</p> <p>被災地ボランティアセンターの運営と支援</p> <p>4 多数遺体取扱訓練 ※ 市内別会場で実施（市立看護専門学校）</p> <p>遺体安置所の設営や検視・検案、身元確認及び遺族対応</p> <p>5 防災フェア・実演訓練</p> <p>（1）防災に関する展示や体験学習などの啓発</p> <p>（2）ライフライン応急復旧の実演</p>

訓練の特徴	<p>船橋市は人口が集中する都市圏で、工業地域、大型商業施設や大規模駅が複数存在する半面、旧来の住宅地もある県内の中核都市である。</p> <p>しかし、埋立地のリスク、倒壊ビルや車両による交通麻痺に至る可能性及び過去の訓練の反省から、自助機能強化や多数滞留者への適切な対応などを課題として、都市型災害への対応や海上における救出救助等を組み合わせることにより、住民の防災意識を高揚させ、ひいては県全体の防災力の向上に繋げることが期待できる。</p>
問い合わせ先	千葉県防災危機管理部危機管理課 電話 043-223-2175

○千葉県会場 案内図

訓練会場周辺図

【会場へのアクセス】

当日は、「習志野市役所」及び「JR 京葉線新習志野駅」から会場までの無料シャトルバスを運行しますので、ご利用ください。



主会場：高瀬町運動広場

- ・倒壊建物からの救出救助
- ・消火活動訓練
- ・医療救護訓練 など
- ・防災フェア

副会場：京葉食品コンビナート協議会

南岸壁

- ・海上捜索・消火訓練
- ・洋上医療拠点訓練 など
- ・防災フェア

